

計画の進め方について

国土交通省北海道局

令和5年7月18日

1. 計画のマネジメント

2. 計画の地域展開(地域づくり推進ビジョン)

3. 官民共創の推進

計画のマネジメント

- 計画の推進に当たっては、計画の進捗状況を点検し、主要施策、期間等について、弾力的運用又は必要に応じた見直しを行う。
- 計画の進捗状況を点検するため、主要施策に対して、モニタリング指標を設定する。
- モニタリング指標を活用し計画の進捗状況を把握するとともに、代表的な指標を分析し、主要施策等の評価を行い、改善点を検討するPDCAサイクルを進める。

目標・主要施策(P)

(北海道総合開発計画)

施策の実行(D)

(国、地方公共団体、民間等)

進捗状況の点検・評価(C)

(国土交通省北海道局)

改善(A)

(あらたな部会)

我が国の豊かな暮らしを支える北海道 ～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道

- ①食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展
- ②観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
- ③地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現
- ④地域の強みを活かした成長産業の形成
- ⑤自然共生社会・循環型社会の形成
- ⑥北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興
- ⑦アイヌ文化の振興等

北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 ～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり

- ①デジタルの活用による生産空間の維持・発展
- ②多様で豊かな地域社会の形成
- ③北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成
- ④生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

基本的方向性

施策・取組の実施

モニタリング指標

モニタリング指標を活用し、計画の進捗状況を把握

代表的な指標※の分析、主要施策等の評価

※モニタリング指標のうち、2つの目標や北海道開発との関係性が強い指標として着目した代表的な指標を主要施策ごとに設定

計画の進捗状況把握のイメージ

・ 主要施策の達成度をモニタリング指標の上昇(↑)、横ばい(→)、下降傾向(↓)の3種類で評価する。

我が国の豊かな暮らしを支える北海道 ～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道

①食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展

No.	モニタリング指標名	変化
1	農業総産出額、全国シェア	↑
2	●●●●	↑
3	□□□□	→
4	△△△△	↓
・		
・		
計 (↑)10指標、(→)8指標、(↓)5指標		

北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 ～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり

④生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

No.	モニタリング指標名	変化
1	高規格道路整備延長	↑
2	●●●●	↑
3	□□□□	→
4	△△△△	↑
・		
・		
計 (↑)10指標、(→)2指標、(↓)0指標		

全体の総括				
主要施策	モニタリング指標数			評価
	上昇傾向	横ばい	下降傾向	
我が国の豊かな暮らしを支える北海道～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道				
①食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展	10	8	5	一定の進捗
②観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり	8	5	3	一定の進捗
③地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現	4	8	2	概ね進捗
④地域の強みを活かした成長産業の形成	4	8	2	概ね進捗
⑤自然共生社会・循環型社会の形成	7	5	2	一定の進捗
⑥北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興	4	8	2	概ね進捗
⑦アイヌ文化の振興等	4	8	2	概ね進捗
北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり				
①デジタルの活用による生産空間の維持・発展	4	7	3	概ね進捗
②多様で豊かな地域社会の形成	4	8	4	概ね進捗
③北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成	8	4	1	一定の進捗
④生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり	10	2	0	一定の進捗
全体				

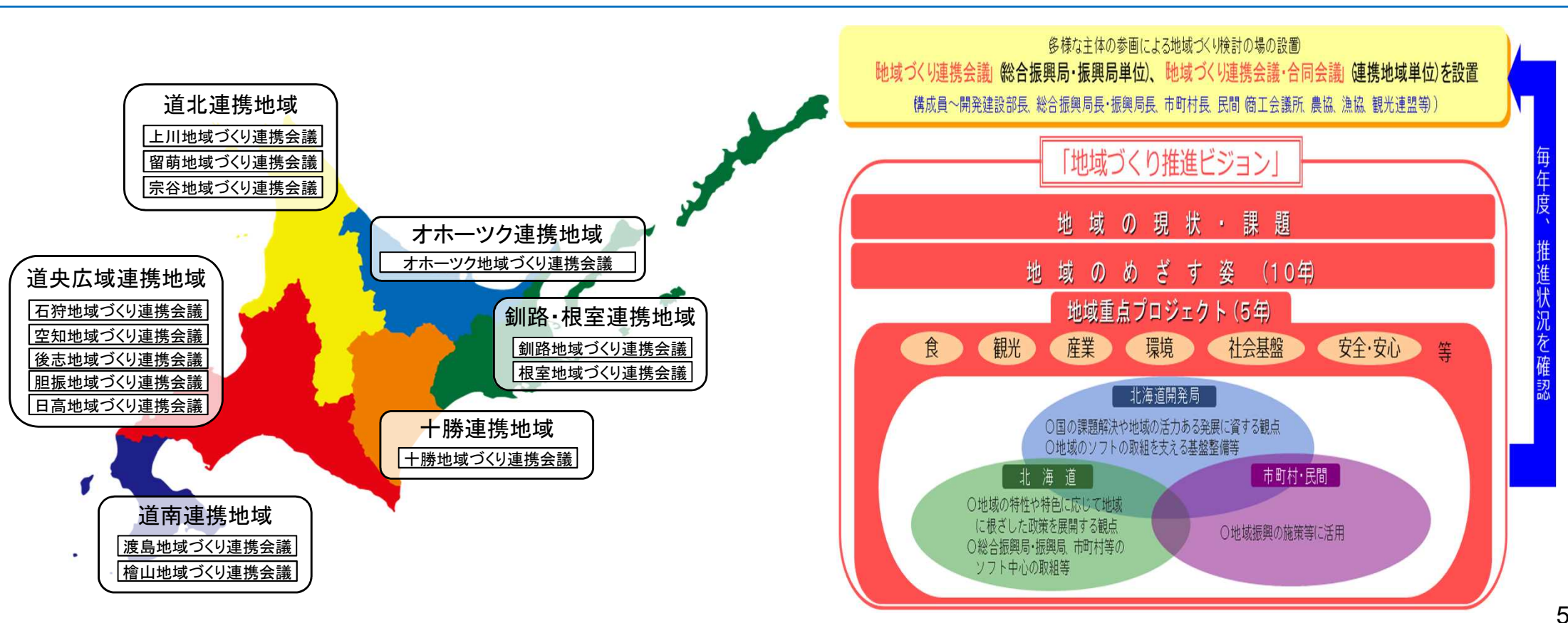
1. 計画のマネジメント

2. 計画の地域展開(地域づくり推進ビジョン)

3. 官民共創の推進

計画の地域展開(地域づくり推進ビジョン)

- 「第8期北海道総合開発計画」においては、多様な主体と地域づくりの方向を検討・共有し、地域における総合的な意見交換の場の確立を図るため、北海道開発局開発建設部、北海道総合振興局・振興局、市町村、民間(商工会議所、農協、漁協、観光連盟等)で構成される「地域づくり連携会議」を6圏域を中心として設置。
- 地域づくり連携会議においては、「北海道総合開発計画」(国)及び「北海道総合計画」(北海道)に基づいた施策の展開を図るため、「地域づくり推進ビジョン」をとりまとめ。
- 「第9期北海道総合開発計画」においても、両計画に基づく施策の展開を図るため、「地域づくり推進ビジョン」を“計画の地域版”としてとりまとめ予定。



1. 計画のマネジメント

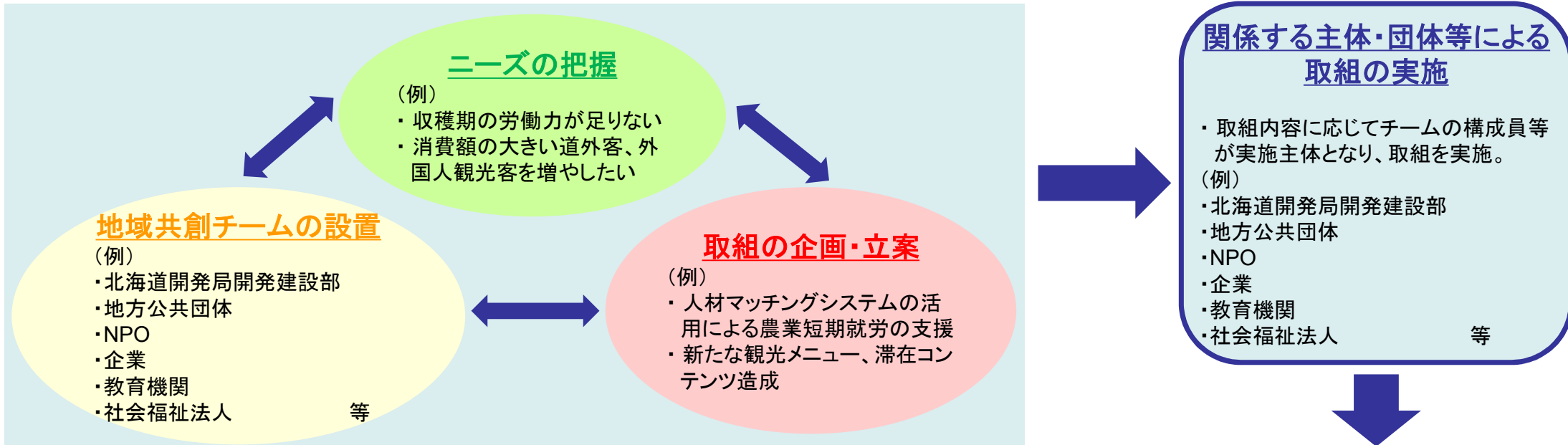
2. 計画の地域展開(地域づくり推進ビジョン)

3. 官民共創の推進

官民共創の推進

- 「第9期北海道総合開発計画」の目標実現に向けて、北海道開発局開発建設部、地方公共団体、NPO、企業、教育機関等による連携体制を構築。「地域共創チーム」(仮称)の設置
- 「地域共創チーム」(仮称)は、地域のニーズやテーマに応じて編成し、デジタル技術の活用等による生産空間の維持・発展を目指して、官民連携による取組を推進。
- 「地域共創チーム」の取組を「地域づくり推進ビジョン」に反映。

地域共創チームの取組“イメージ”



※課題や取組に応じてメンバーを構成
※既存の協議体等も活用

共に北海道の未来を創る

食

- ・労働力不足の解消
- ・農林水産物ブランド化、農泊推進 等

観光

- ・ガイド育成等の受入体制強化
- ・地域のブランディング確立 等

ゼロカーボン北海道

- ・プラットフォームによる水素の普及 等

- ・自然共生社会の形成
- ・道の駅の物流拠点化
- ・地域交通の利便性向上
- ...
- ...
- ...